

学校名	三郷市立彦成中学校
所在地	三郷市彦成4-1-19
電話	048-957-1201

1 本校の概要

開校 40 年目を迎えた本校は、普通学級 6 クラス、特別支援学級 6 クラスで生徒数 202 名の「小さな実力校」である。インクルーシブ教育を前提に「自ら学ぶ生徒 思いやりのある生徒 心身をきたえる生徒」の教育目標のもと「学力向上に努め、夢と生き方を見つける彦成中」を目指して日々の教育活動を展開している。今年度は読書を通して生徒の学びを広げることを目標に、学校生活のいろいろな場面で図書を活用し、どの生徒も将来的に公共図書館などを活用し自分の学びを広げ、深めていけるような素地作りができるような読書活動を積極的に推進している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

読書活動を通して生徒の学びを広げる

(2) 実践の概要

ア 朝の 10 分間読書

毎日始業前に 10 分間の「朝読書」を実施し、生徒は読んだ本を毎日記録している。その記録用紙から自分の活動を振り返り、朝の「10 分間の読書活動」を有効にしている。



イ 読書ノートの活用

本を読んだ感想や気に入った表現などを書き留めるようにしている。感想文などを書くときの参考になっている。

ウ 図書委員会の活動

全校生徒に図書館の利用を活発にしてもら



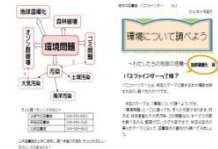
うために、図書委員会の企画による Hikonari Bookmark Contest を行い、全校生徒から作品を募り、優秀作品を投票し上位 5 作品を選び、Bookmark として作成した。これは生徒にも大人気となり多くの

生徒が学校図書館を利用するようになった。委員会の生徒が毎日昼休みに、忘れずに貸出作業も行っている。

生徒が学校図書館を利用するようになった。委員会の生徒が毎日昼休みに、忘れずに貸出作業も行っている。

エ 授業における積極的な学校図書館利用

学校司書にテーマを決めてパスファインダーを作成してもらい、調べ学習の時に利用している。パスファインダーは授業以外でも利用する生徒が増えてきた。



オ 「読書のすすめ」の作成

教員からまずおすすめ本を紹介し掲示、学校司書からはその時期にふさわしい本を毎月の図書だよりにて紹介、図書委員からはポップを作成し、自分のおすすめ本を紹介している。

カ 読書ゆうびんの作成

友達または家族に自分の好きな本を紹介する読書ゆうびんを実施。今年度は小学 6 年生に読んで欲しい本をテーマに読書ゆうびんを作成し小学校に掲示してもらった。

キ ボランティアによる読み聞かせ

月 1 回ボランティアの方が、各クラスを順番にまわり、どの学年も 3 ヶ月に 1 回は読み聞かせを聞いている。

ク タイムリーな話題の提供

学年の学習内容から最新本までテーマでコーナーを設置し学びを深める工夫をしている。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

生徒の読書意識は確実に向上し、読書量も増えてきている。本を利用して調べるなど読書が身近になってきている。

(2) 課題

読書が好きな生徒とそうでない生徒の差が激しいので、どの生徒にも活用してもらえようような環境作りに更なる工夫が必要である。